

管内の地域活性化 取組事例を紹介

地域の有するポテンシャルを活かしながら、営農や地元の食材を使用しての活動等、地域活性化や所得向上等に取り組んでいる団体について紹介します。

日本一農業の創造～若手が魅せる先進農業～

▶一関研農同志会（岩手県一関市、平泉市）

<第10回 東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定地区>

団体概要：岩手県南部に位置する一関市と平泉町を跨がる一関遊水地の農地で稲作を行っている農業青年者（次期担い手20～30代）7名によって、H25年に「一関研農同志会」を設立。現在では賛同する若手農業者も増え15名に拡大。平均年齢は39歳。

取組内容：

①スマート農業の導入：H28年にスマート農業の必要性を地域農業へ提言し、RTK基地局やGPSレベラーを導入。現在では自動操舵システム等が多く稼働。

②研修：設立当初の海外研修を始め、H26からH28は国内研修を実施。

③地域での取組：毎年度3月に地域の主要幹線道路5kmのゴミ拾い活動の実施。

今後の展開：今後は研修会を主催し、他地区の若手農業者とも連携し一関・平泉地域の農業を盛り上げていきたい。



R3スマート農業導入開始式



H25フランス研修

雫石中家庭部発、地域活性プロジェクト！

▶雫石町立雫石中学校家庭科部（岩手県雫石町）

<第10回 東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」奨励賞>

団体概要：雫石中学校は全校生徒377名家庭部員23名。H29年より、野菜栽培（六次産業化実習）と地域・福祉活動を掛け合わせた活動を展開。雫石町、社会福祉協議会、NPO法人など後援者も多数。町唯一の中学校として、次世代教育に繋がる取組が注目されている。

取組内容：

①中学生主体の六次産業化活動：耕作困難となった畑地で栽培した野菜を使った加工・販売体験。「中学生がどこまで挑戦できるか」を毎年更新中。

②地域の伝統食文化学習と、学びを通じた交流：

③地域や福祉活動への展開：高齢者デイサービス施設での昼食調理交流、子ども食堂への材料提供など、農産活動での学びや成果を地域に還元。

今後の展開：培った六次産業化実習スキル×ボランティア経験を活かし、部活動や学校内にとどまらない、新たな案需要拡大につながる活動を展開したい。

自ら学び、動き、主役となって、今後もさまざまな方と関わりを持ち、町を明るく元気にしていきたい。



農業指導員の指導による畝作りとマルチ張り



「中学いも」の販売活動の様子

ばあちゃんの知恵父ちゃんの誇り母ちゃんの愛情

▶3ちゃん矢次工房（岩手県矢巾町）

団体概要：時代の変化によって自宅で味噌を作る習慣が減少したことに加えて、健康の源である食は添加物不使用で安全安心な食材を摂取してほしいという一心で、H10から地元の大豆・米を使用した味噌づくりを開始。

H24年に農林水産省の六次産業化総合化事業計画を活用して「3ちゃん矢次工房」を設立。工房の名前には「ばあちゃんの知恵、とうちゃんの誇り、かあちゃんの愛情」の3つの「ちゃん」が力を合わせて地域を元気にしていくという意味を込めている。

取組内容：

①H20年からは、地域内の耕作放棄地を利用して自分たちで南部白目大豆（ナンブシロメ）を栽培（50a）。

②地域活性化のため、地域の店や地元産の食材とコラボし、手作り味噌の加工商品を開発。

③町内の保育園児と保護者向けの味噌づくり教室をH28年から毎年開催し、食育にも取り組んでいる。



3ちゃん矢次工房のメンバーと加工施設



茎わかめ味噌漬けと手作り味噌

事務所所在地及び連絡先

北上土地改良調査管理事務所

住所：〒020-0023
岩手県盛岡市内丸 7-25
盛岡合同庁舎 3階
TEL：019-613-2533（代表）
FAX：019-654-0271

J R東北新幹線「盛岡駅」
から 1.5km



宮城支所

住所：〒989-6143
宮城県大崎市古川中里
6-7-10
古川合同庁舎 3階
TEL：0229-24-1630
FAX：0229-22-6314

J R東北新幹線「古川駅」
から 0.5km



旧迫川支所

住所：〒987-0111
宮城県遠田郡涌谷町字
柳町 26-1
浅貞中央ビル 2階
TEL：0229-25-8350
FAX：0229-44-2880

J R石巻線「涌谷駅」
から 0.3 km



北上土地改良調査管理事務所のシンボルマーク：「北上アグリピア」は「アグリカルチャー」＋「グリーン」＋「ユートピア」を短縮した造語で、農業の発展と緑に包まれた理想的なふるさとの創造を表現しています。シンボルマークの図柄は背景を当事務所管轄エリアの大地を表現し、その中に太陽・水・人を象形文字で表現しています。



<https://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/kitakami/>

令和5年12月発行